

# 日本IBMは従業員を使い捨てをやめろ

## JMITU 日本 IBM 支部の3大争議

☆パワハラ降格争議

☆AI不当労働行為争議

☆定年後再雇用賃金差別争議

日本IBMは現役世代をパワハラ4点セット、すなわちパワハラ低評価・パワハラPIP・パワハラ賃下げ・パワハラ降格で追い立て、さらに60歳以降になると再雇用者に対し不合理な賃金差別で生活困窮にまで追い詰めています。しかも労働組合との集団的労使関係さえ否定し、AI不当労働行為を犯しています。パワハラ賃下げ争議の全面勝利和解解決を受け争議に勢いがついた今、さらなるご支援をお願いいたします。

定年後再雇用賃金差別裁判（東京地裁民事33部）

次回：12月09日（木）13時30分より510号法廷

パワハラ降格裁判（東京地裁民事19部）

次回：12月27日（月）13時15分より証人尋問@527号法廷

AI不当労働行為・再雇用不当労働行為（東京都労働委員会）

次回：日本IBM支部ホームページでお知らせします



JMITU 日本アイビーエム支部

東京都港区赤坂2-20-6 川瀬ビル5階

TEL 03(3583)9037

e-mail : kumiai@jmitu-ibm.org

# 検証・テレワーク

## 「働き方改革」との関係から考える

牧野富夫（日本大学名誉教授）編著

COVID-19 感染拡大を機に各業界に広がったテレワーク・リモートワーク。感染防止対策や通勤時間の有効利用などメリットはあるものの、実際の勤務時間があいまいになり、仕事のための経費も自己負担、会社や同僚とのコミュニケーションにも苦勞し、メンタル疾患に追い込まれる人も増えているといわれる。

本書は、労働現場に広がるテレワークの実態を報告し、ジェンダー視点から見たテレワーク問題、子どもの教育の「デジタル化」なども考察し、こうしたテレワークを推奨する政府・経済界の「新成長戦略」を批判。今日の労働問題の理解に不可欠な視点を提示する。

定価 1210 円（本体 1100 円+税）

### 【目次】

- 第一部 ■ 検証・テレワーク
  - テレワークの常態化から「ジョブ型」雇用をめざす電機業界  
森 英一（電機・情報ユニオン書記長）
  - 24 時間・365 日働かせる IT 企業のテレワーク  
杉野 憲作（JMITU 労組・日本 IBM 支部書記長）
  - コミュニケーションを困難にする SE にとってのテレワーク  
横山 南人（電算機関連労働組合協議会事務局長）
  - 損保労働者にさまざま負荷がかかる在宅勤務  
浦上 義人（全日本損害保険労働組合執行委員長）
  - 顧客と会えなくてもノルマは残る金融業界のリモートワーク  
田畑 俊郎（金融ユニオン書記長）
  - 子どもの学習の ICT 化 ～GIGA スクール構想を考える  
三嶋 さとえ（さいたま市立小学校教諭）
  - テレワーク・在宅勤務をジェンダーの視点から考える  
田巻 紘子（弁護士）
- 第二部 ■ 財界主導の「働き方改革」を問う  
牧野 富夫（日本大学名誉教授・全国革新懇代表世話人）



（A5判 96 ページ、ISBN 978-4-7617-1035-4）

お申込みは杉野までメール（sug\_00a@yahoo.co.jp）でお願いします。（送料無料でお届けします）

お申込者氏名：

住所：

連絡先メール：

お申込みをいただき次第、杉野からご連絡を差し上げます。